



日本安全性薬理研究会 第15回学術年会のご案内

詳細は本研究会のホームページ：<https://www.j-sps.org> をご参照下さい。

学術年会長： 久保 多恵子（住友ファーマ株式会社）

会期： 2024年2月22日（木）、23日（金、祝日）

会場： 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール及びサイエンスホール

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

新大阪駅より約15分

大阪国際空港（伊丹空港）より約15分

<https://www.senrilc.co.jp/access/japanese.html>

参加申込（事前参加申込のみ）：

参加費（早期）：10,000円（一般）、1,000円（学生）

参加費（後期）：15,000円（口座振込のみ）

参加申込期間（早期）：2023年11月10日（金）～2024年2月9日（金）

参加申込期間（後期）：2024年2月14日（水）～2024年2月20日（火）

一般演題（ポスター発表、Flash talk 及び優秀研究発表賞）：

参加申込期間：2023年11月10日（金）～2023年12月15日（金）

懇親会：

開催日時：2024年2月22日（木）18:10～20:40

会場：千里ライフサイエンスセンター 千里ルーム

参加費：6,000円（学術年会に参加される方は、参加登録と同時に申込が必要です。）

参加申込期間：2023年11月10日（金）～2024年2月9日（金）

講演：安全性薬理研究の歩み

安全性薬理研究のこれまでの歴史や研究会発足の経緯、また今後の展望などについての講演を予定しています。学術年会に参加していない方でもご参加いただけますので、安全性薬理研究に興味のある方は是非ご参加ください。

プログラム（案）：

テーマ：トランスレーション・リバーstransレーション

1. 特別講演：リバーstransレーション研究（嘔吐・消化管不快感）

2. 教育講演：電気生理学の基礎と臨床（CiPA プロトコルは何故 Best practice なのか、イオン



チャンネルと麻醉)

3. シンポジウム

- ・ 中枢神経系：うつ（医療ビッグデータ、病態メカニズム）
- ・ 循環器系：比較心電図（心電図、どう使うの？）、パネルディスカッション

4. ワークショップ：これからの安全性薬理を考える（中枢評価とAI、代替法）

5. 安全性薬理 Q&A

6. ランチョンセミナー

7. 海外招待講演

8. 一般演題（ポスター発表、Flush talk、優秀研究発表賞）

9. 企業展示（展示ブース、Flush talk）

その他：本研究会の学術年会への参加は、日本毒性学会認定トキシコロジストの受験資格および認定資格更新の評点（5点）になります。

以上